

かみひこうき

志貴野ホーム

検索



QRコードも
作成しました！
ぜひご覧ください。

第55号

志貴野ホーム

令和4年9月発行

☎ 939-1272

富山県高岡市下麻生字天洞 5340

TEL (0766) 36 - 2600

FAX (0766) 36 - 2601

URL: <http://www.shikino.or.jp>

E-mail: shikino@orion.ocn.ne.jp

お花見散策に行きました



令和4年4月5日(火)、4月6日(水)、4月7日(木)の3日間で中田にある公園へお花見散策(ドライブ)へ行ってきました。3日間とも天気が良く、散歩日和となりました。最近ではコロナ禍で中々外出が出来ない状況下ではありましたが、久々に外出ができ、利用者の皆さんも楽しんでおられました。





フォトギャラリー



避難訓練

訓練は大切に



屋外に移動中



ステーキ弁当

3月30日

牛屋-鐵-様より取り寄せた氷見牛弁当を堪能しました。



お花見弁当

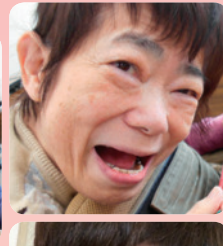
4月14日

毎年恒例厨房スタッフさん特製のお花見弁当です。

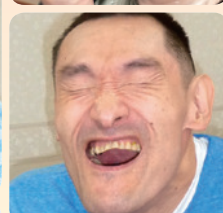


食堂にも桜が咲きました。

テイクアウト行事



一人ひとりお好みの食べ物をテイクアウトしました。



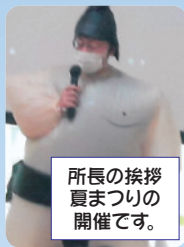
ごそうさま
ちうま



夏まつり

7月27日

転がせエッグロールゲーム



所長の挨拶
夏まつりの
開催です。



がんばりました!



スキヤキ・スティール
オーケストラDVD鑑賞

世界のお祭りクイズ

世界のお祭りクイズ

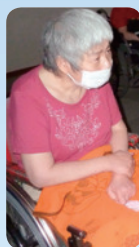
【フランス】
キャセロールさんの
ハンバーグマトソース



【イタリア】
テキサスハンズさんの
ミックスピザ



世界を味わう



花火鑑賞



浴衣姿の
司会者

【アメリカ】
一休 19HITOYASUMI さんの
カリフォルニアロール寿司



かぎやー

日常風景



リハビリ
頑張ってます!



真剣です。



趣味活動アラカルト

【魚釣り】
釣ったぞー



【梅雨飾り】
季節のカエルと



私だけの短冊☆



【桜飾り】
私の方がきれい

【七夕飾り】
何のお願いしようかな



保育園交流

かわいいねえ♡



利用者作品紹介

志貴野ホーム

塗り絵



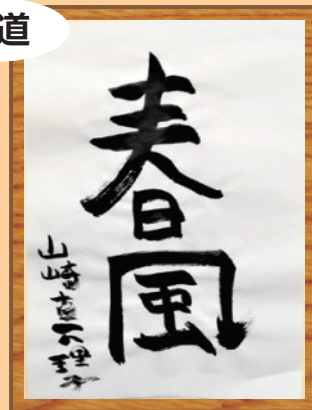
「うみ」
作：大門 伸勝

塗り絵



作：島倉 純

書道



「春風」
作：山崎 真理子

志貴野ホーム障害者福祉センター

塗り絵



「夏まつり」
作：釜田 大志

書道



「がすい」
作：松井 美喜

高岡市障害者福祉センター

ちぎり絵



「野菜 ☆ カーニバル 月」
作：利用者共同制作

壁面飾り



「富山県はいい所がいっぱい！」
作：利用者共同制作



フォトギャラリー



お花見



きれいだなあ



いい景色だなあ～

習字

集中してます



一筆に思いをこめて



3B体操

リズムに合わせて
のびのびと♪



陶芸



ボッチャ

みんなで盛り上げて
楽しいよ～！



令和3年度 苦情解決・虐待防止委員会「ほたるの会」事業報告

1. 苦情対応状況

苦情内容	現在の状況	解決した年月	解決に至った経緯
日常介助場面での特定職員の対応方法について	解決	令和3年 12月下旬	当委員が該当職員に聞き取りを行ない、状況を確認する。当委員より、該当職員へ今回のようなことが起こった場合の対応方法や職員としての心構えを助言する。後日、申出人に経過を報告し納得されたため解決となる。

2. 苦情解決体制の啓発活動

今年度は、職員会議の場において、様々な事例を採り上げて申し送りました。

今後ご意見、ご要望をどしどしお寄せください。よろしくお願いします。

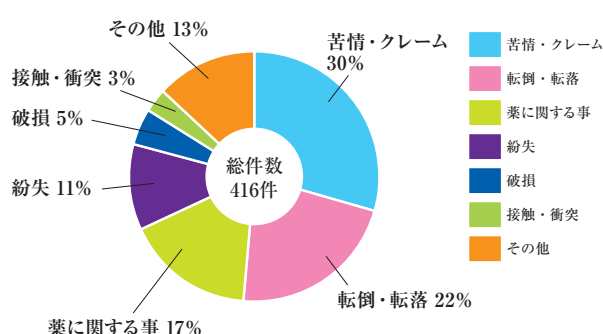
ほたるの会一同

令和3年度 リスクマネジメント委員会活動報告

苦情クレーム	30%	126
転倒・転落	22%	90
薬に関する事	17%	69
紛失	11%	44
破損	5%	21
接触・衝突	3%	13
その他	13%	53
総件数	100%	416

「薬に関する事」の内41件は、服薬ミス関連

令和3年度 ヒヤリハット・事故内容別割合



令和3年度の目標は、前年度の反省を活かし「薬の飲みこぼしを防ぐ」という内容で取り組みました。

実際の取り組みとして、服薬場面についての危険予知訓練(KYT)、薬の飲みこぼしが繰り返えされる事例についての情報共有を行った結果、薬の飲みこぼしを減らすことができました。しかし、薬の飲みこぼしが減っても年間のヒヤリハット・事故総件数については前年度と比べて、ほぼ同じ件数という結果になりました。

また薬に関するヒヤリハット・事故について注目すると、前年度よりも増加傾向にあり、細かく見ていくと服薬介助ミスが増えている傾向が確認できました。利用者の方の健康維持に関わる薬に関することがやはり1番大事であると委員会では考えています。そのため、次年度は「服薬介助ミスを減らす」を目標に、少しでも薬に関するヒヤリハット・事故を減らせるよう取り組んで参ります。目標を実現するためにも、毎月の取り組むべき事例について分析して対策案を考え、問題点・対策案の情報共有を円滑にできるよう情報発信とKYTを通して改善に努めて参ります。

ソーシャルメディアの普及による急速な価値観の多様化、“Z世代”と呼ばれるデジタルネイティブな世代の社会進出。眩暈がするほど加速度的に変化する現代社会において、社会福祉法人という公益団体の使命・意義に目を向けてみると、真つ先に思い浮かんだのは「地域貢献」ひいては、共同体の幸福度向上でした。当然ながら、「10年後、20年後も世界は続いていく」という、SDGs的な視点も看過はできませんが。

“共同体”についても、前述した様相を呈する現代社会では、あまりにも個人間における価値観の隔たりが大きくなっている、「共同体」での幸福を辿る上で一つの道標となる、地域に根差した不文律の美学というようなものも薄れていつてしまっていると感じます。追い打ちのように、この数年はコロナ禍によるパラダイムシフトが益々それらに拍車をかけ、行動への閉塞感が高まったまま。にもかかわらず、個々人の意識、価値観は複雑多岐に分かれ続けているという、内向的かつエンタロピーの高い、共同体が形成されていると感じるのは私だけではないはず。

その上で、「幸福度の高い共同体」を、「個人の意思を最大限尊重しつつも、相互扶助の意識が働いており、なおかつ活性度の高いコミュニティ」と定義づけるならば、それを実現するために必要な行動は、『ファシリテーションスキルに秀でたリーダーの元行われる「交流」と「対話」ではないかと私は考えます。』共同体「同士が独自性を保ちつつ相互に影響しあい、WinWinの関係を築いていくことで、先行き不透明な時代にも順応できる「共同体」となる…

なんて、令和に入ってから衝撃的な事件が頻発するせいか、こんな絵に描いた餅みたいなことばかり頭に浮かんでいきます。

編集後記

令和3年度 利用者自治会活動報告

令和3年度は、サンコーの買い物代行の利用を開始しました。新型コロナの影響で中田アルビスへの買い物が中止されることもあり、会員のみなさんはよく利用しています。会員からの希望の商品を聞き取り、利用しやすい買い物代行になるよう努めました。これからもみなさんの要望に応えられるよう続けていきたいと思っています。

今年度も職員やその他多くの方々のご理解とご協力を得て無事に任期を終えることができました。心より感謝申し上げます。

自治会役員一同